

小牧市ごみ処理基本計画の進捗状況について

令和４年度第１回審議会資料内で、集計が間に合わなかった「再資源化率」、「新聞店回収量」について下記のとおり報告いたします。

① 《再資源化率》（ごみ処理基本計画 P.24）

	R2実績	R3実績	目標値	達成度
再資源化率	36.7%	36.6%	37.8%以上	→

【再資源化率が下降した原因】

- ・家庭系ごみ、資源の排出量について、コロナウイルスの感染は完全には収束していないが、在宅傾向が徐々に緩和されてきており、家庭で過ごす時間が減少するなどしたことから約830tの減少となった。
- ・事業系ごみ、資源の排出量について、社会経済活動が回復傾向にあり、テレワークから会社へ入社する人が増加するなどしたため、約134tの増加となった。
- ・埋立てごみを含むごみ・資源の総排出量は約845tの減少となった。
- ・資源について、本市が回収を推進している剪定枝類にあっては、約87tの増加となったものの、雑がみにあっては、約14tの減少となった。
また、その他の古紙・古布（新聞、雑誌、段ボール、紙パック、古布）については、近年のペーパーレス化や民間の古紙コンテナの増加による排出機会の多様化及びコロナ禍における地元での資源回収の取りやめ等により減少し、このことから全体の資源化量は約353tの減少となった。
- ・令和２年度に比べ、ごみ・資源の総排出量、資源化量はともに減少した。
とくに資源の総排出量、資源化量の減少割合が高くなった。

令和３年度のごみの排出量及び資源化量（前年度比較）

表２ ごみの排出量（分母）：単位（t）

（※参考）↓

	R2	R3	差（R3-R2）	割合	R1
家庭系ごみ	25,530	24,853	-677	97.3%	24,940
内燃やすごみ	21,454	21,085	-369	98.3%	21,095
家庭系資源（※）	8,280	8,099	-181	97.6%	7,799
内雑がみ	763	749	-14	98.2%	668
内剪定枝	1,269	1,356	87	105.6%	1,172
事業系ごみ	10,149	10,433	284	102.8%	10,328
事業系資源（※）	4,179	4,029	-150	96.4%	4,235
集団回収（※）	1,297	1,325	28	102.2%	2,062
計（埋立てごみ含む）	49,616	48,771	-845	98.3%	49,608

（※）資源化対象。表３で再掲

表3 資源化量（分子）：単位（t）

（※参考）↓

	R2	R3	差 (R3-R2)	割合	R1
エコル資源化（スラグ等）	4,438	4,389	-49	98.9%	4,274
家庭系資源	8,280	8,099	-181	97.6%	7,799
事業系資源	4,179	4,029	-150	96.4%	4,235
集団回収	1,297	1,325	28	102.2%	2,062
計	18,194	17,841	-353	98.0%	18,370

② 《新聞店回収量》

令和3年度資源回収品目別表（t）

単位：t		行政回収	新聞店
古紙類	新聞	639.9	601.64
	雑誌	495.203	84.37
	段ボール	574.12	5.46
	計	1,709.223	691.47

- ・新聞店への新聞の持ち込みに関しては、行政回収と同程度の量が持ち込まれていた。